

令和5年度

一般会計

後期高齢者医療特別会計

当初予算の概要

一般会計

●当初予算額

2億1,315万2千円（対前年度比 0.97%減）

●主な内容

派遣職員給与等負担金 1億9,300万円（前年度比 171万4千円減）

その他、広域連合の組織運営に関する事務経費

後期高齢者医療特別会計

●当初予算額

2,276億3,083万4千円（対前年度比 0.34%増）

●主な内容

【保険給付費】 医療機関等に支払う医療費の負担金等

2,262億624万6千円

（前年度比 5億9,204万5千円、0.26%増）

【保健事業費】 健康診査事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業等

7億8,024万2千円（前年度比 4,794万4千円増）

【総務費】 資格管理・給付に係る事務経費、電算システムに係る経費等

4億9,671万2千円（前年度比 1億3,000万9千円増）

●主な増減要因

- ・保険給付費については、被保険者数の増及び医療の高度化等による一人当たり医療費の増と、2割負担制度による減（△0.8%）を見込んだため。
- ・保健事業費については、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の実施圏域の増及び実施市町の増（18市町→20市町）による委託料の増加のため。
（一体的実施事業委託料：予算額2億7,900万円、前年度比2,900万円増）
- ・総務費については、クラウド化を伴う電算システム機器更改関連経費（2億221万3千円）の増等のため。